

目標達成計画

作成日: 平成 28年 3月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や高齢化により、日々、変化する入居者の状態に対し、介護職員が戸惑い、判断に迷うことが頻繁に出てきた。状態の変化に対しどの段階で指示を仰ぐか、職員によつての判断がまちまちで、支援の方向性が定まらない。	職員が、入居者一人一人の身体状況をしっかりと把握でき、異常が早期に発見できる。	看護師による医療的観点からの、定期的モニタリングも実施を行い、利用者を観る視点やポイントなどの研修を行う。そうすることで、職員のとまどいや不安を少しでも軽減し、的確な判断ができるスキルを身につけられるようにする。	12ヶ月
2	20	入居することで、ご家族も施設に居るといふ安心感があり、又、古くからの友人やなじみの方も、施設に居ることへの遠慮からか交流が少なくなり、入居者との関わりが薄くなっていく傾向にある。	入居された後も、家族やなじみの方との関わりがあり、住み慣れた地域での生活が継続される。	家族会の了承を得、ご家族・友人を、一緒に参加できるイベント(夏祭り)や催し(誕生会・かいなカフェ)にお誘いし交流を図ってもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。